

先に 名前をつけてのあいさつ

「どうぞ」・「ありがとう」のルー

目と目を合わせてあいさつ

琢成小学校では、日頃の生活のしぐさとして上記の事を心がけています。

さらに、合言葉として

①「お い こ さ た (お)」

お 「おはようございます」

い 「ってきます」

こ 「こんにちは」

さ 「さようなら」

た 「ただいま」

(お) 「おかえりなさい」

② お客さんに挨拶をする時は、立ち止まって

③ 地域の方々には「おはよう」に続けて「ってきます」



琢成小学校 校内外生活のやくそく

(教育目標)

高さを求め 気品を備え たくましく生きる 琢成の子どもを育てる

(琢成しぐさ)

先に 名前をつけてのあいさつ
「どうぞ」・「ありがとう」のリレー
目と目を合わせてあいさつ

(合い言葉)

「おいこさた (お)」
お客さんにあいさつするときは、立ち止まって
交通指導員さんなどには「おはよう」に続けて「行ってきます」

☆校内のやくそく

	やくそく
学 習 面	<ul style="list-style-type: none"> ・筆入れの中身 えんぴつ (Bなど) 5本 赤青えんぴつ マイネームペン 消しゴム 筆入れに入る長さの定規 (※ 学習に必要な物以外はもたない) ・時間前に準備して着席している。 ・家庭では「家庭学習」を行う。 (集中して 学年×10分がめやす) ・忘れ物をしない。あっても取りにいかない。
生 活 面	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会や集会は5分前行動を心がけ、8時15分には、整列して話をやめて座って待つ。 ・朝会や集会の際には、各学級ごとに教室に整列して、体育館に移動する。 ・体育館での遊びは、原則として、小体育館・大体育館の使用割りあてに従って遊ぶ。 また、ステージの上や体育用具室に入って遊ばない。 ・時と場所、話す相手にふさわしい丁寧な言葉づかいをする。 ・職員室に入る際には、ランドセルやジャンパー、帽子などをぬいで入る。 ・自教室以外には、断ってから入る。用事がない時は特別教室・空き教室に入らない ・廊下は静かに歩く。 ・学校から帰るとき、身の回りを整理し、机をきちんとならべて帰る。
健 康 面	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除のときには、中学年以上は、三角巾をつける。低学年は、赤白帽子をかぶる。 ・昼食後は歯みがきを行う。 ・給食の時、外から教室に入る時は、うがい・手洗いを忘れずにする。 ・体育時の服装 運動着の中には、下着のみ着用する。(寒いときには、重ね着してもよい。) ・ハンカチ、ティッシュはいつも身につける。

くらしのめあての合い言葉は 『 **たくせい** 』 です。

たくせいのやくそく

だ れにでも心のこもったあいさつ

く るまに気をつけ 安全に

せ いかつリズムに気をつけて

い のちを大切にします

水 (海, 川) **火** (火事) **金** (万引き, 貸し借り) **車** (交通事故) **人** (不審者)

たくせい小学校の子どもたちは、だれにでも明るく気持ちよいあいさつをかわそうとがんばっています。

- ・地域の皆さんにも元気よくあいさつしましょう。
- ・寄り道をしないで、登下校しましょう。

くるまによる事故が心配されます。☆交通ルールを守りましょう。

- ・道路へのとび出しは、ぜったいにしてはいけません。
- ・広がって歩いたり、さわぎながら歩いたりしません。
- ・自転車には、家の人と相談して乗りましょう。
 - ◆道路がぬれているときや凍っているとき、風が強いときは、自転車に乗らないようにしましょう。
 - ◆暗くなってからの自転車乗りは、たいへん危険です。

せいかつリズムを整えて、体の調子をくずさないようにしましょう。

- ・早寝、早起きを心がけましょう。
- ・体を動かして元気に遊びましょう。
- ・外から帰ったら、手洗い、うがいをし、かぜをひかないようにしましょう。

いのちを守るために、どんなときにも心のブレーキをかけられる子になりましょう。

- ・『あぶない遊び』『万引き』『火遊び』『知らない人についていくこと』は、絶対にしてはいけません。
- ・危険な目にあったら、大声で助けを求めたり、近くの家へ逃げたり、大人の人に連絡したりしましょう。
- ・ゲームセンター、ゲームコーナー、カラオケには、大人の人と一緒に行きましょう。
- ・釣りや海水浴、川や海には、大人の人と一緒に行きましょう。
- ・花火は、大人の人としましょう。(火遊びはしない)
- ・公共の場でのマナーを守りましょう。(おしゃべりの声、飲み食いなど)
- ・危険な場所での遊びはやめましょう。
- ・遊びに行くときは、「だれと、どこへ、何をしに、何時に帰るのか」を家の人に伝えてから出かけましょう。